JCSS登録
3月1日、4月25日登録分

㈱製品評価技術基盤機構（NITE）は、計量法トレーサビリティ制度のJCSS事業者を登録した。

◇事業所名＝登録番号／登録の区分／計量器等の区分／事業所所在地の順（3月1日付）

◇㈶日本品質保証機構計量計測センター＝0029／長さ／長さ測定用レーザ、一次元寸法測定器／東京都世田谷区砧1－21－25◇㈶日本品質保証機構計量計測センター＝同／角度／角度測定器／同◇㈶日本品質保証機構計量計測センター＝同／流量・流速／気体流速計／同◇㈶日本品質保証機構計量計測センター＝同／電気（高周波）／高周波測定器等、レーザパワー測定器等／同◇㈶日本品質保証機構計量計測センター＝同／湿度／湿度測定器等／同◇㈶日本品質保証機構計量計測センター＝同／硬さ／ロックウェル硬さ試験機等／同◇㈱エー・アンド・デイ校正室＝0107／質量／分銅等／埼玉県北本市朝日1－24－3◇㈶日本建築総合試験所試験研究センター品質保証部計測器校正室＝同／力／一軸試験機／同◇㈶日本建築総合試験所試験研究センター品質保証部計測器校正室＝同／質量／はかり／同◇楠本化成㈱エタック事業部技術2部温度校正室＝0171／温度／接触式温度計／埼玉県草加市弁天4－18－6◇㈱情報通信研究機構無線通信部門＝0172／電気（直流・低周波）／直流測定器等、低周波交流測定器等／東京都小金井市貫井北町4－2－1◇㈱情報通信研究機構無線通信部門＝同／電気（高周波）／高周波測定器等／同◇大和製衡㈱品質管理部＝0173／質量／分銅等／兵庫県明石市茶園場町5－22◇パナソニックエレクトロニックデバイス㈱スピーカビジネスユニットアコースティックプロダクツ試験所＝0174／長さ／一次元寸法測定器／三重県松阪市上川町字大黒2460－1（4月25日付）

◇㈶日本軸受検査協会試験所＝0022／長さ／一次元寸法測定器／大阪府堺市堺区南清水町2－1－7◇㈶日本軸受検査協会試験所＝同／硬さ／ロックウェル硬さ試験器等／同◇山里産業㈱標準室＝0037／温度／接触式温度計／大阪府高槻市三島江1－5－4◇横河電機㈱技術開発本部計測標準センター＝0058／圧力／圧力計／山梨県甲府市高室町1－55◇㈱岡崎製作所温度計校正室＝0079／温度／接触式温度計／兵庫県明石市貴崎5－6－28◇旭産業㈱標準室＝0097／温度／接触式温度計／大阪府大阪市東淀川区菅原4－7－19◇アジレント・テクノロジー㈱サービスセンター＝0100／電気（直流・低周波）／直流測定器等、低周波交流測定器等／東京都八王子市高倉町9－1－1◇アジレント・テクノロジー㈱サービスセンター＝同／電気（高周波）／高周波測定器等／同◇菊水電子工業㈱品質保証部門品質保証課＝0140／電気（直流・低周波）／直流測定器等、低周波交流測定器等／神奈川県横浜市都筑区東山田1－1－3

MLAP認定
2月24日、4月14日認定分

㈱製品評価技術基盤機構（NITE）は、計量法の特定計量証明事業者（MLAP）として事業者を追加認定した。

◇事業所名＝認定番号、所在地、認定区分、媒体／計量の方法、有効期限の順（2月24日付）

◇㈱環境公害センター＝N－0068－01、愛知県名古屋市東区徳川2－24－3、大気中のダイオキシン類、排ガス／JISK0311（2005）※、環境大気／ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成18年環境省水・大気環境局）※、水又は土壌中のダイオキシン類、排水／JISK0312（2005）※、環境水／JISK0312（2005）※、土壌／ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠（※は3月30日付変更届に基づき試験方法を変更）、2009年2月23日◇㈱ジェイペック若松環境研究所＝N－0136－01、福岡県北九州市若松区柳崎町1番、大気中のダイオキシン類、排ガス／JISK0311（2005）、環境大気／ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成13年環境省環境管理局）準拠、水又は土壌中のダイオキシン類、排水／JISK0312（2005）、土壌／ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、底質／ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、09年4月13日◇㈱苫小牧臨床検査センター＝N－0035－01、北海道苫小牧市日吉町2－3－9、大気中のダイオキシン類、排ガス／JISK0311（2005）、環境大気／ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成13年環境省環境管理局）準拠、水又は土壌中のダイオキシン類、排水／JISK0312（2005）、環境水／JISK0311（2005）、土壌／ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、底質／ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、09年4月13日◇㈱上総環境調査センター本社分析センター＝N－0077－01、千葉県木更津市潮見4－16－2、大気中のダイオキシン類、排ガス／JISK0311（2005）、環境大気／ダイオキシン類に係る大気環境調査マニュアル（平成13年環境省環境管理局）準拠、水又は土壌中のダイオキシン類、排水／JISK0312（2005）、環境水／JISK0311（2005）、土壌／ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、底質／ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、09年4月13日◇㈱江東微生物研究所環境分析センター＝N－0143－01、福島県いわき市好間工業団地4－18、水又は土壌中のダイオキシン類、排水／JISK0312（2005）、環境水／JISK0312（2005）、土壌／ダイオキシン類に係る土壌調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、底質／ダイオキシン類に係る底質調査測定マニュアル（平成12年環境庁水質保全局）準拠、09年4月13日

資料
計量標準の供給開始と校正範囲の拡大(1)

計量行政審議会平成17年度第1回計量標準部会資料より

参考資料1－1
特定標準器及び特定副標準器の取り消し等について（トルクバランス型電力用交直比較器）

1．背景

現在、電力及び電力量の標準については、日本電気計器検定所が保管する「トルクバランス型電力用交直比較器」が特定標準器に指定されている。この特定標準器は1960年代に開発されたもので耐久性が失われつつあり、当初の不確かさを維持することが困難な状況となっている。

今般、日本電気計器検定所において新たな特定標準器「電力電力量校正装置」の開発が進み、現在と同等の標準供給範囲を維持しつつ、不確かさの向上が可能となった。これより、特定標準器を「トルクバランス型電力用交直比較器」から「電力電力量校正装置」に変更することとする。

2．新たに指定する特定標準器

電力電力量校正装置（日本電気計器検定所が保管するもの）

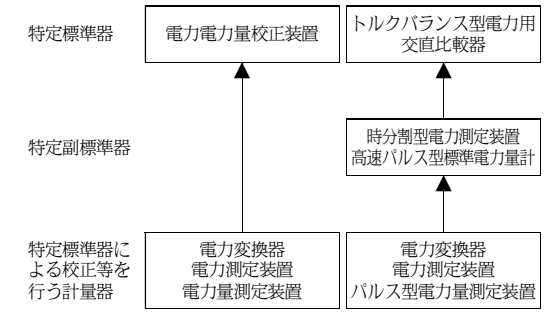
3．取り消し予定の特定標準器

トルクバランス型電力用交直比較器（日本電気計器検定所が保管するもの）

4．取り消し予定の特定副標準器

時分割型電力測定装置及び高速パルス型標準電力量計（日本電気計器検定所が保管するもの）

〈編集部注：平成17年度第1回計量標準部会は2005年10月25日に開催されました。文中の「指定」「取り消し予定」は、05年12月1日付で告示されています〉



5．計量標準供給体系

参考資料1－2
特定標準器の指定及び校正等の実施について（電力電力量校正装置）

1．背景

電力及び電力量標準は、産業社会を根底から支える電気エネルギー測定の基盤であり、全ての社会が享受している測定量でもある。近年、地球環境保全の観点から、省資源、省エネルギー、自然エネルギーの有効活用あるいはこれらの対策に伴う負荷の多様化による電源品質の問題等注目を集めており、不確かさの小さい電力及び電力量の標準供給に対するニーズが高まっている。

現在、日本電気計器検定所が所有している電力及び電力量の特定標準器は、1960年代に開発されたもので、長期間の使用により、耐久性が失われつつあり、当初の不確かさの維持が困難になっている。

（次号以下につづく）